



目次

- 令和4年度のセンターの活動
- 令和5年度の方角について
- 令和5年度定時総会
- 五十嵐つくば市長のご祝辞
- 女性活躍委員会の活動

- 新入会員セミナー・リフレッシュ講習会
- 障子ふすま張り
- 健康・趣味・スポーツ
- 企業探訪「仙台銘板つくば営業所」
- 歴史に学ぶ「真田 上田合戦」

〈令和4年度のセンターの活動〉

令和4年3月にコロナ感染の「まん延防止等重点措置」が全面解除され、シルバー活動は徐々に平常に戻り、設立30周年記念事業を始め、定時総会、理事会、各部会・委員会の開催および地区活動の活性化（アダプト・ア・パーク等のボランティア活動および懇談会等）ができました。しかし、入会者の平均年齢が74歳と、高齢化が進むことにより、作業能率の低下など、シルバー業務に大きな影響が出てきました。特に、剪定・草刈り業務では、地域によっては業務を対応しきれないエリアもでてきております。令和5年度は作業エリアの見直し（6地区から3地区体制）を実施し、作業全体の効率化を図っていきます。

以下に特筆する点を述べていきます。

1. 中期事業計画に基づく経営の健全化と就業の拡大ですが、経常利益は約4百万円の利益を計上しており、これは、ゴミ処理場の解決及びその他の要因によるものです。又、就業拡大は、2年間コロナ禍で休止していた就業開拓委員会を11月に復活し、ようやくコロナ以前のスタート地点に着きました。

2. 会員の増強及び拡大ですが、(1)県シ連(主催)による「女性のつどい」開催、(2)入会案内用のポスティングの実施(3)出張説明会の復活等を実施しましたが、令和4年12月頃までは、コロナ禍の影響もあり、会員数は減少しています。しかし、コロナ禍が下火になった令和5年2月、3月の入会説明会の参加者数は30

数名と順調に増加しています。又、令和5年4月からスタートする、会員の「新規会員紹介制度」、及び、出張説明会・審査会の増加等により、会員増大につなげて行きます。

3. 事業存続のための後継者の育成ですが、(1)難関の「自転車技術試験」に2名合格したこと、(2)コロナ禍で中止していた「剪定講習会」を3年ぶりに開催したことは、後継者の育成に大きな足掛かりをつけました。今後とも、障子・襖貼りも含めて、後継者の育成に注力していきます。

そして、事務局体制ですが、ここ3年間でベテラン職員が3名退職し、新人3名を配属しましたが、この新人の育成が第一と考えております。

(理事長 小杉晴彦)

〈令和5年度の方角について〉

1. 1年を振り返って、いかがでしたか。↓シルバーの今後の飛躍へ。

令和4年6月、理事長になって、1年が経過しました。当初から、理事会・部会・各委員会等にて、会員拡大・就業拡大・後継者対策等いろいろ施策を軸に活動してきましたが、振り返ってみれば、コロナの影響もあり満足した結果を生み出すことが出来ませんでした。その中でも、シルバーの今後の飛躍への足掛かりを掴むことができました。

2. シルバー人材センターの将来はどのように考えますか。↓シルバーは社会になくてはならない存在となり、将来は明るい。

人生100年時代、65歳以上の高齢者が人口の三分の一を占める超高齢化社会になり、国民の全てが社会を支える時代になりました。就業能力と就業意欲を持った高齢者にできるかぎり働いていただき、地域社会を支えてもらう必要があり、シルバーはますます、社会になくてはならない存在と考えています。

3. シルバー人材センターの理想と現実↓理想は、シルバーの基本理念の遵守ですが、現実には、基本理念を逸脱したものが散見されます。例えば、理事・監事・地区役員の手が少なくないとが挙げられます。自分たちのシルバーですから、自らがシルバーを支えていることを認識して頂きたい。

4. 高齢化社会の進行、70歳まで働くなどによってシルバーに影響はありますか。↓魅力あるシルバーにすれば年齢の影響は少ない。

シニア経験を生かした就業先をセンターで探し、会員の働く場を増やすことが大事だと思います。例えば、子どもの教育分野、または学童分野等を開拓して社会活動に貢献等、意義深い取組みを展開していく。(臨床心理士とタッグ)

5. シルバー人材センターが将来に向かって進むためには、具体的にはなにが必要と思われるか。↓事務局体制の強化が必要。

センター職員は、事業遂行上必要な知識を身に着けることは無論のこと、高齢者の就業等に関するさまざまな相談に応じられる専門的能力と管理能力が必要とされる場合が少なくありません。従って、事務局体制の強化(研修等)を図る必要があると思います。(理事長 小杉晴彦)

(注) きずなの中では「つくば市シルバー人材センター」を「センター」と称する場合があります。

【令和5年度定時総会】

令和5年度定時総会が令和5年6月22日市民ホールやたべで開かれました。理事長、各来賓のご挨拶のあと、議題として、議案第一号令和4年度収支決算、議案第二号理事選任および報告第一号から第4号が、賛成多数でいずれも承認されました。令和4年度報告書で重点目標として事業推進したのが①経営の健全化と就業の拡大②地域活動事業とボランティア活動事業の活性化③会員の増強及び拡大④事業存続のための後継者の育成⑤センター設立30周年記念事業の実施。課題として、労働環境、入会者の高齢化などがあります。令和5年度報告書では、令和5年度の事業計画でひきつづき4件の重点目標があげられています。安全標語と会員の表彰のあと、閉会となりました。

【五十嵐つくば市長の祝辞】

シルバー人材センターの皆さまの活動によって、日ごろから様々な形で市民の幸せのために「尽力をいただいていることに、心からお礼を申し上げます。アダプト・ア・パークは全地区で行われていますし、保育所への雑巾の寄付、高崎自然の森や荃崎老人福祉センター、市内の公園等の施設管理など、皆様の活動によって、すばらしい環境が守られています。

また、「すけつとくん」では高齢者世帯の様々なことを、子育て支援ルーム「きずな」では、私も当事者ですが、子育て世代の親にとつて非常にありがたい一時預かりサービスを、自転車部では多くの自転車を生産していただいています。このような数多い価値ある事業を大変ありがたく思っています。

高齢者の皆さんが、つくばに住んで良かったと思ってもらえるためにはどういうことが求められているのか、高崎福祉課の職員と何度もやり取りをして、今年度は静から動へ活発に動ききっかけを作りたいとの思いから、

新しい予算をいくつか用意しました。一つは、電動アシスト自転車を購入される方への補助です。70歳以上の方に交通安全講習を受けてもらい、電動アシスト自転車の購入にあたり、二輪車には5万円、三輪車には12万円、しかも免許を返納すると更に二輪車は1万5千円と三輪車は3万円が上乗せになり、最大15万円の補助が受けられるというものです。

交通安全講習受付初日には、100名を超過する申込みがあり好評をいただいております。秋の講習会は9月下旬からで市報等で案内を行いますので、ぜひ活用してください。

一つは、文化芸術振興事業のチケット代の補助です。70歳以上の方に一公演につき1000円、チケット代の補助をいたします。チケットの購入場所はつくばカピオ、ノバホールの窓口となりますので、ぜひ活用してください。

一つは、傾聴ボランティアで「おうちで交流」という事業です。高齢者が一人で自宅にいて、誰とも話さずに一日が終わってしまう状況を少しでも改善すべきだと考え、ボランティアがご家庭に訪問し、お話を拝聴するというサー



ビスです。ボランティアも募集しますので、みなさんのお力をぜひいただければと思います。また、全ての地域交流センターに居場所機能として、ロビーにソファを置いたりしてみなさんがちよつと集まれる場所を設けました。市としても、井戸端会議ができる溜まり場のようなってほしいという思いもあり、高齢者の皆さまが楽しく幸せに生きがいを持って過ごせるような施策を用意しています。

生きがいは、とても大事でシルバー人材センターの活動は本当に理想的な活動だと思っています。どうぞこれからもお願いいたします。

【新役員紹介】（順不同・敬称略）

- | | | |
|------|------------|-------------|
| 【理事】 | 小杉 晴彦（理事長） | 深谷 淳一（副理事長） |
| | 土田 禎太郎 | 酒井 清貴 |
| | 寺田 佳樹 | 久保田 明 |
| | 張元 政治 | 井上 佐智子（新任） |
| | 石川 勇一（新任） | |
| 【監事】 | 山峰 國彦 | 金子 和雄 |

【事務局長新任の挨拶】

このたび、4月1日付けで事務局長を拝命いたしました、小室伸一です。



事務局職員とともに、より一層地域に根ざした信頼されるシルバー人材センターにしていきたいと思っておりますので、会員の皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

〈センターの活動報告〉

【理事会】

3～5月、令和4年度第10回・令和5年度第1回・2回の理事会を開催し、諸案件が報告、協議されました。令和4年度の事業実績ですが経常利益が約4百万円増にて、順調に推移しております。また、各部会・委員会等の報告並びにそれぞれの承認事項について協議されました。その他、主たる承認事項等

- (1) 令和4年度の事業報告について
- (2) 令和5年度の事業計画・収支予算の件
- (3) 中期事業計画のブラッシュアップの件
- (4) 令和5年度定時総会について
- (5) 理事候補者について
- (6) 規程変更について

【事業部会】

令和4年度事業の反省と令和5年度事業の方向性について

令和4年度の請負・派遣業務において重要な反省点は、人手不足と低賃金このことは永遠の課題であります。しかしこの課題を改善してい



かなければ、シルバー事業の先行き不透明感が拭えません。令和5年度においては、4年度の反省を踏まえ人手不足や低賃金を解消できるように、知恵を絞りだして解決策を見出し

ていきます。市場はコロナ禍を過ぎて緩やかな回復傾向にあります。請負業務については、毎年夏・秋季に受注が集中しますが、集中期の受注制限と年間均等化を図る。更にはワークシェアにより、作業を効率化し待ち時間解消を図っていきます。

派遣業務については、国を挙げて企業のベアスアップを実施しています。また最低賃金の見直し等に伴い、企業との賃金アップ交渉を加速化させていきます。

安全対策としては、草刈作業における石ハネ事故が多発しています。再発防止対策を周知検討していますが、更なる防止対策を実施していきます。

会員拡大・仕事拡大・後継者確保等、地域に密着した頼れるシルバー人材センターを目指しています。(事業部会長 酒井清貴)

【総務部会】

総務部会の総括と今後の方針について

コロナ禍の時期、総務部会の令和4年度を総括してみると大きな案件として規程集改正が4月20日の理事会で承認された事です。また、新入会員セミナー並びに3年・6年会員の接遇力向上研修会が会員多数出席され大好評でした。令和5年度につきましては、基本的には中期事業計画に則り進めたいと思います。中でも、『会員増強』は分科会を中心により一層活動を展開して参りたい。その一端として、『ポスティング活動』や『新規会員紹介制度』を4月より実施します。また、会員拡大につきましては各種

の同好会設立によるつくば市シルバー人材センターの新たな価値観・共同体・感性・魅力づくりに進進して行く所存です。(総務部会長 土田禎太郎)

【地区統括部会】

地区統括令和5年度の結果と今後

地区統括は会員と最も近い部会です。地区役員さんは面白いイベントを企画して地区内の親睦を図ろうと努力しています。令和4年度はすべての会員が参加できる奥久慈リング狩りをしました。これはもともと荃崎のバスツアー企画でしたが全体企画に押し上げたものです。荃崎の村野地区長にはたいへんなご尽力をいただきました。6地区全体でのイベントは初めてだということでした。令和5年度も各地区にとどまらず6地区全体が交流できる何かを模索します。(地区統括部会長 寺田佳樹)

【安全委員会】

新年度を迎えて

「安全は全てに優先する」仕事をする上で一番重要な標語ではないでしょうか。我々シルバー会員は年齢的に若い時のように自由自在に体を動かす事がつらかったり、注意力が少し劣ってきているかもしれません。が、そのような状況をこれまで培った豊富な経験と知識を駆使して本年度も無事故無災害で一日一日を笑顔で楽しく過ごしていきましょう。

「笑う門には福来たる」・・・「ご安全に」(安全委員長 張元政治)

【女性活躍委員会】

(1) 令和4年度活動報告

令和4年度もコロナ禍の為、行事を最小限にしました。

- ・ 11月16日 女性のつどい（小倉洋子さんの講演）
- ・ 12月14日 フラワーアレンジメント
- ・ 3月30日 市内23か所のうち13か所の保育所に雑巾1300枚寄付

(2) 令和5年度の予定

- ・ まつりつくばに向けての作品作成
- ・ 女性限定の入会説明会実施
- ・ 研修視察予定
- ・ 残り10か所の保育所に雑巾寄付

女性活躍委員会は会員の協力のもと、シルバー人材センターの発展に寄与したいと思えます。

(3) 市内・公立保育所へ雑巾1300枚を寄贈

今まで小学校へ雑巾やマスクを寄贈していましたが、今回初めて公立保育所へ、雑巾を寄贈しました。保育所は市内に23か所あります。理事長、副理事長、女性活躍委員会のメンバーが、そのうち13か所（小田・



北条・作岡・沼田・大穂・今鹿島・上郷・上横場・真瀬・稲岡・手代木南・二の宮・松代)の保育所に3月30日に直接持参しました。1つの保育所に100枚、計1300枚ほどです。各保育所の所長もしくは施設長から「コロナ

禍が下火になるも、園児施設の消毒は特に徹底しているの、雑巾は本当に必要です」と非常によろこばれました。雑巾は、女性活躍委員会が会員の皆様に提供していただいた浴衣やタオル生地で作成しています。当初はなかなか集まらず、何度か「事務局だより」で呼びかけして、ようやく集まった貴重な材料でした。会員の皆様に感謝申し上げますと同時に、今後とも不用品がありましたら、ぜひ事務局までお届けください。（女性活躍委員会一同）

〈独自事業〉

【子育て支援ルームきずな】

豊富な子育て経験を重ねてきた女性会員のみなさんが、子どもたちと接している様子を拝見していると、この仕事はみなさんにとって天職ではないかとさえ思えてきます。今年5月末の日曜日の朝取材で訪れると、ちょうど5歳の男の子が預けられていました。女性のコーディネーターと会員が子どもを暖かく見守っていたのでお聞きしたところ、とにかく日ごろから気をつかっているのが、健康、ケガをさせない、楽しく遊んでもらう、それに万一の場合（地震、火事、不審者）の対応と避難訓練だそうです。元気いっぱいの子どもの姿と声がやはり楽しい。



【自転車部】

自転車部が、市役所（サイクルコミュニティ推進室）から点検業務委託を受けている、つくばインフォメーションセンターを訪ねました。つくば駅バスターミナルにある、BiViつくば内にあります。インフォメーションセンターでは、観光の案内やレンタサイクルの受付などをしております。菱沼さんをリーダーとする女性6名で業務に携わっておられ、外国人の案内は英語で対応しています。レンタサイクルの利用は、1月に200台から400台位です。利用者は平日は、サラリーマンが多く、休日は親子連れが多いです。利用中の自転車の故障は1月に1件くらいなので、毎月点検の結果で、安心して貸し出しができます。（久保田）



〈会員講習〉

【新入会員セミナー】

令和4年度第二回新入会員研修会が令和5年3月29日大穂交流センターにて、出席者20名で開催されました。小杉理事長からシルバー人材センターの理念、現況、問題点など、



また土田総務部長から安全就業についての話があり、続いて宝田佳永子講師による接遇力向上研修、コミュニケーションのあり方の講義を受けました。最後に3班に分かれてディスカッションで意見を述べあいアンケート用紙を提出して終了しました。(根本)

【リフレッシュ講習会】

令和5年3月10日と3月22日の両日に開催され、それぞれ17名と15名の参加がありました。この講習会は入会3年目、6年目の会員を対象に毎年開催し、今年度は次のように行いました。開会挨拶、理事長挨拶、総務部長挨拶に続き宝田講師により、約1時間30分の講義を受けました。講義の内容は接遇力工場をメインテーマに(1)コミュニケーションに必要なマナー(2)マスクコミュニケーションのポイント(3)言葉によるコミュニケーション(4)感性タイプによるコミュニケーション等を受講しました。その後3班に分かれてディスカッションを30分行い、各班の代表者がディスカッション内容を発表し、内容は講義が大変有意義であったとす



る一方でトラブルの処置法、クレームや失敗談など具体的な例を挙げた話、安全の講義も欲しかったとの意見もありました。最後に研修アンケートを各自提出し、リフレッシュ講習会を閉会いたしました。

(根本)

【障子ふすま張り】

令和5年4月に、作業場を今鹿島から、豊里窓口センターに移動しました。襖貼りなどの作業は今鹿島で初めてから約20年位になります。最近、酒井さん(72歳)が入りましたので、寺島さん(88歳)久保田さん(73歳)の3名体制となりました。寺島さんは、20年に渡り作業に従事しており、プロ並みの腕前です。久保田さんも6年目になります。綺麗に仕上げることをモットーに作業をしています。仕事は9時から16時で、1か月に15日くらいです。作業の依頼は事務局にご連絡願います。(久保田)



〈健康・趣味・スポーツ〉

【グラウンドゴルフ】

令和5年4月6日グラウンドゴルフには絶好の日和。豊里多目的広場(豊里庁舎野球場)に



て桜会代表者坂入善助さんの粋な計らいで豊里地区シルバー人材センターの会員10名(男性…4人・女性…6人)が集まりました。グリーンフィールドを打てば玉の響きあり行く未定まらず、悪戦苦

闘し全身タツプリ汗かき2時間一杯球を追って楽しみました!!指導員の方々にお疲れさまでしたと全員で最敬礼して球技場を後にしたのです。(土田禎太郎)

【ややかな筋トレ】

腰が痛くて歩けない。右の尻から太ももにかけて痺れて重い。背筋が弱っているのが原因でした。簡単に筋トレできる方法はないか。使わなくなった蕎麦打ち麵棒を15センチに切って、腰骨あたりに構え、背骨と骨盤のつなぎ目あたりに意識を置いて引つ張ります。毎日気の赴くままに引つ張り続けること2週間。腰の痛みが引きました。15センチの麵棒はバックにも入って持ち運びに便利。職務質問受けたときも凶器には当たらないので問題ありません。(寺田)



【新緑のリンリンロード】

今年5月初、市内のバスの終点で降りた筑波山口バスターミナル周辺では、麓に沿って伸びるリンリンロードを、と



きには子どもたちも加わってみなさんがツリーングを楽しんでいました。(山内)

〈企業探訪〉

会員がたくさん就業している企業の探訪

以前から持続的にたくさんの方の会員を受け入れ、このたびさらに増員したいとの要請があった「仙台銘板関東機材センター」を訪問し、事業所の責任者および現在働いている会員から派遣現場の状況を聞きました。

「関東機材センター」は、みどりの駅東側の工業団地の一角にあり、主に道路工事に伴う資材、工事の表示灯、各種危険防止柵や足場鉄骨などを工事業者に貸し出す事業を行っています。会員は貸し出し資材の準備、工事終了後返却された資材の点検や清掃、必要に応じて修理し、次の貸し出しのための整備、所定の場所に保管するなどの業務を担当しています。当然、全ての作業において、大きく、重いような資材は、機材センター職員によるフォークリフトや重機によって行っています。

現在、16名が就業していますが、増員を要望しております。出勤予定表は、事前に皆さんの



希望や予定を聞いて事業所が作成し、勤務時間は8:45から17:00までと休憩を除き7時間15分となっています。勤務日数は、原則月80時間以内となりますが、もう少し働きたいという会員は、ハローワークに登録することによって勤務時間を増やすことが可能となっています。この場合、当センターの事務局と機材センターとの協議を行って決定することになります。

機材センターでは、業務に先立って会員からその日の体調を聞くなど健康に常に配慮し、さらに、エアコン付きの休憩室には流しや冷蔵庫、



さらにウォーターサーバーが設置され、水分の補給ができるようになっていきます。また、年に数回、就業している会員の意見を聞くなど意思の疎通を図り、職場改善に努めています。

職場を探訪した印象として、季節によって厳しい時もあると考えられますが、職場環境もよく、会員も和気あいあい、はつらつと仕事をしているように見受けられました。これまで多くの会員の働きや努力によって機材センターの信頼を得、今回の大幅な増員の要請に繋がっています。就業の希望者、あるいは就業を躊躇している会員は、まず一歩踏み出すべき職場、時には挑戦も大事だと考えます。多数の応募を待っています。(尾台)

「水田上空にドローン」

令和4年8月早朝、ドローンを積んだ軽トラ群の一台がドローンを発射。機体が軽トラの幅いっぱいにはあり、大きい馬力もありそう。下向きに吹き付ける風で、稲穂が大きく波打っている(写真)。人手がかかる薬剤散布などは、いまやドローンの仕事。一方では



ロシアのミサイルやドローンがウクライナ市民を襲う。

〈歴史に学ぶ〉

真田 上田合戦で徳川を撃退

大阪（旧大坂も）人にとって、豊臣家のために力戦奮闘して優勢な徳川に苦杯をなめさせた真田には頭の下がる思いがある。1614年大坂冬の陣後に大坂城の堀を協定違反の埋め立てで裸城にして、翌年夏の陣で豊臣家滅亡に追いこんだ徳川幕府（家康・秀忠）にはいまも根強い反発心があり、それが真田への親近感につながっている。ここで真田の名を天下に高からしめた一度の上田合戦にふれたい。いずれも主役は真田昌幸公（1547～1611）。

信濃から上野に分布していた古くからの豪族にすぎなかった真田一族が、戦国の世あたりから勢力を伸ばしはじめ、武田信玄に臣従して重用された真田幸隆が頭角をあらわす。知略と武勇に才能を発揮した祖父の幸隆、父の昌幸、彼らの薫陶をうけた長男の信幸（のちに信之、徳川幕府の大名）・次男の信繁（通称幸村、大坂夏の陣で戦没）一族は、存分にその力を発揮している。昌幸の代に、1582年武田氏滅亡、信長横死、豊臣秀吉の天下取りなどと、戦国の世は目まぐるしく変わり、周囲を強国に取り囲まれた真田は北条、織田、徳川、豊臣、上杉に和をもとめて独立を維持しようとは必死の舵取りをする。このときに北条氏と結んだ家康が、武田旧領分割で真田の沼田領を北条に渡すように迫った。昌幸はそれを蹴って秀吉と上杉に頼り、証として幸村を上杉に差し出した。

〈第一次上田合戦〉天正十三年（1585）八月、

家康は信州上田の真田攻めに七千余の兵をおくった。昌幸は少ない手勢で上田城に陣取り、長男信之を戸石城に立て籠もらせ、上杉景勝に救援を求める一方、複雑な上田城下町の作りや、柵、伏兵などで地域不案内の徳川軍を翻弄する。おりしも徳川の重臣石川数正が秀吉のもとにはしる大事件が起きて、家康は兵を引き上げざるをえなくなった。この戦いで、真田昌幸の武名が天下に鳴りひびく。

〈第一次上田合戦〉家康との和睦の証として、秀吉は昌幸に家康の傘下に入るように命じ、信之は家康に仕えることになった。打倒豊臣に陰謀をめぐらす家康は、慶長五年（1600）上杉景勝討伐を口実とする軍をおこし昌幸たちも参軍した。その真田の陣中に石田三成から西軍旗揚げの密書がとどき、昌幸は西軍参加を決意して、幸村とともに上田城にたてこもった。信之は徳川軍にとどまっている。九月、中山道を通って関ヶ原に向かう三万八千の徳川秀忠軍は上田城攻防戦で、またも昌幸、幸村らの巧妙な引き伸ばし戦術と小勢によるゲリラ戦法で攻めあぐねているあいだに、関ヶ原戦役が終わるといふ大失態をおかす。西軍内部の足並みの乱れで、西軍の敗北という残念な結果にはなったが、真田の奮闘ぶりは天下に知れわたった。大藩（大國）が小藩（小國）を意のままに支配しようとして、手痛いしつぺ返しを受けた好例。いまもかわらない。（山内）

〈独自事業のお問い合わせ〉

「子育て支援ルームきずな」

つくば市谷田部老人福祉センター2階

☎ 070-1457-6062
毎日9時～17時。

定休日・木曜日と年末年始

「自転車部」

つくば市吾妻1-2-5「南」立体
駐車場出口向かい側

☎ 090-7801-1043

営業時間10時～18時

（5ページ記事にて）

「事務局からのお知らせ」

（入会説明会・審査会）

毎月第2木曜日 13時30分～

大穂庁舎3階シルバー会議室

月日	時刻	場所
8月22日(火)	13時30分～	《荃崎地区》 荃崎交流センター
9月12日(火)	13時30分～	《谷田部地区》 市民ホールやたべ
10月10日(火)	13時30分～	《桜地区》 下広岡 交流センター

「表紙の写真」

つくば市内にある国立科学博物館筑波実験植物園で今年5月下旬世界最大級の花で有名な「シヨクダイオオコンニャク」の花が2つも咲いた。例の「悪臭」は夜だけしか匂わなかったようだ。

こんやくの花について、筑波実験植物園のHP「コンニャク日記」<https://fbg.kahaku.go.jp/news/konnyaku/>がなかなかおもしろい。

